

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和3年3月17日

事業所名 児童発達支援センターひかり園

職員数：24名 配布数：16名 回収数：15名 割合：93%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	13	2		・法令を遵守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	14	1	利用定員に対して、基準以上の配置をしている。	・法令で必要とされる配置数に加え、非常勤職員を4名配置しています。しかし、業務の多様化により、兼務の職員もいるため、職員体制を流動的にせざるを得ない時もあり、配置体制を更に検討していきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	5	建物の老朽化もあり、修繕を必要に応じて丁寧に行なう。子どもにとってわかりやすい導線（具体物を手がかりに【〇したら～する】という流れをつくるなどの環境設定を工夫している。	・園庭が2ヶ所あり、建物の構造上死角になる所もあるため、表園庭は乗り物遊び、裏園庭は砂遊びや総合遊具を使用して遊ぶなど安全面の配慮をしながら環境設定をしています。（職員体制が整ってか
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13	2	降園後は、教材教具等、消毒を行わない衛生管理の徹底を図っている 遊戯室は使用目的に応じパーテーションで区切り、子どもの特性に応じた支援ができるようにしている	ら園庭2ヶ所を開放するなど人的面の留意しすすめている。）総合遊具は、安全領域や安全基準に沿って設置しています。子どもたちにとって過ごしやすい環境になることに努めます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	13			・指導者会議・ケース会議・学習会等で支援内容の振り返りや見直し検討を計画的に行なっています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	14		コロナ感染防止対策を講じながら、できる範囲内で、保護者の協力（分散・人数制限等）を得ながら、行事の実施を行なった。（運動訓練日を園だよりに記載しました。発表会・遠足等）	・評価表を用いて保護者への意向の把握を行ない改善に繋げていきます。（保護者の意見により、避難訓練日を園だよりに記載しました。）
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11	1		・自己評価結果を園のHPにて公開します。 ・保護者及び事業所内の2者評価をとっています。第三者による外部評価については現在実施の予定はありませんが、必要に応じて実

	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9	2		施を検討してまいります。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12	1	コロナ禍のため、オンライン研修に参加した。感染症対策研修や発達について学んだ	・職種や経験に応じた研修に派遣し専門性を高めます。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	11		子どもの姿を捉え、児発普を中心に職員間で検討。課題や支援内容を検討し計画を作成している。アセスメントで保護者の思いを聴取り計画に反映する。	・前期・後期とアセスメントやモニタリングを行ない、児のペースやニーズ、特性に応じた児童発達支援計画を作成しています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12	2	基本的な生活習慣の食事面では【食べ方・偏食・道具】など項目に分け子どもの実態把握が適切にできるようにしている。	今後も療育アセスメントの内容を検討して、支援に反映していけるように努めます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12	1	各項目ごとに【こどもの姿】【短期目標】【支援内容】と子どもの状態像および課題を抽出し連動して支援に繋げるエビデンスを明確化している。	・障害児支援利用計画やアセスメントした情報をもとに課題整理を行ない、【身辺自立】【からだ・運動（粗大・微細）】【言葉・対人関係】【遊び】の項目に沿い具体的な短期目標や支援内容を検討後、作成しています。家庭支援についても具体的な内容を明記しています
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13			・活動内容については、年間療育目標、前期・後期の支援目標に沿い、リーダー会議、クラス会議、年長会議とそれぞれクラスの枠を超え全職員で意見を出し合い、活動プログラムを立てています。活動内容を視覚的にわかりやすく月案という形で知らせ、子どもたちに活動に見通しがもてるように工夫しています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	13		リーダー会議で行事等の取り組みについて、クラス会議で各クラスの月案を、そして年長児の課題別療育をグループ担当者会議で検討している	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	13		子どもたちの姿や発達を捉えた観点から活動内容を検討している	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	12		状況に応じて個別対応が必要なときは支援している	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	1	朝礼時に職員体制を把握し、活動内容をクラス別に確認。日課の流れを決めている	・終礼で実施し職員間で情報共有を行なっています。また、会議（学習会や職員会、クラス会議）で、クラス運営や子どもの評価、支援
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、気付いた点等を共有しているか	13	1	振り返りを毎回行うことは難しいが、関わりの困難さや気づきなどがあればクラス内でタイムリーに確認し話し合うように努めている	の在り方等について検し、充実した支援に繋がるよう努めています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを			活動内容や個々の子どもの姿を療	・療育日誌で記録したものをと

	徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11	1	育日誌に記録している。日誌やケース記録をもとに学期ごとに【療育のまとめ】として支援の検証を行っている	にクラスだよりや年長だより等を作成し、定期的に発行しています。保護者の方に支援のねらいや療育内容の今後の展開等についてお伝えし理解を得ています。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	11	1	支援の見直しとして「あゆみ」を作成し、保護者と子どもの成長や課題を共有し支援計画に繋がっている	・前期・後期のモニタリングのひとつとして、「あゆみ」をもとに保護者との個別懇談実施し、子ども理解を共有しています。
関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12	1	担当者が、事業所、学校、関係機関等と連携し関係者会議に参加している	
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	10	1		・こども発達支援センターや障がい福祉課、ネウボラ課等と必要に応じて情報共有や相談、報告を行ない適切な支援を行なえるよう努めています。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6	1		・現在、医療的ケアが必要な子どもは在籍しておりません。
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6	1	医療的ケア児ではないが、関わっている医療機関との情報共有が希薄である。保護者を通して情報を得ることが多い	
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11	1		・移行がスムーズに行なわれ、充実し安定した生活がおくれるように子どもの特性や状態像について丁寧に伝え連携を行なっています。
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	13		子どもの特性や課題など支援について伝えている。引継ぎという形で行うことが多い	入園する児童についても、児童発達支援事業所等から引き継ぎを行ない、適切な支援に繋がっていきます。
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11	1	研修会や公開療育などセンターや事業所の職員と学びあう機会には積極的に参加している	
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		12	コロナ禍の中、例年参加している小学生との交流会は実施されなかった。	・小学校の交流行事に参加することで、子ども自身入学に向けて期待や見通しがもて継続して取り組みます
	㉙ (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参	3	6	福山市障がい者総合支援協議会発達支援部会や療育相談事業の会	

	加しているか			議に参加している	
	③⑩ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	13		おたより等で随時、子どもの状況を伝えている。懇談や支援計画で課題や支援について伝え共通理解ができるようにしている	
	③⑪ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	5	6		・家族支援プログラムについては職員の研修は継続していきませんが、保護者に向けた家族支援プログラムは今後検討していきます。
保護者への説明責任等	③⑫ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11	1		入園説明会で契約をして頂くときに行なっています。
	③⑬ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	11			・療育ガイダンスおよび家庭訪問や懇談を設けて説明をしています。
	③⑭ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12		連絡帳でのやりとりや懇談などを通して適宜対応している	・保護者同士が交流できる場として静養室を開放し、保護者会活動
	③⑮ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9	3	今年度は難しい状況であったが、パパ会・ママ会を開催し、職員も	に利用されています。保護者会活動は保護者主体ではありますが、協力や支援はしています。
	③⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13		相談事など返答に困ったときは他の職員に確認し、迅速に対応できるように努めている	・気軽に相談できる信頼関係を構築しながら、子どもの育ちへの願いや子育ての不安や悩みを受け止められるようにタイムリーに話し合いができるように努めています
	③⑰ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	1	園だより、クラスだより、週に1回のおたよりなどで、随時子どもの様子や園のことを伝えている。また、園のホームページに園生活の様子をブログにあげている	・療育活動や行事のねらいをたよりで知らせ、保護者の方が見通しをもてるように工夫しています。また、緊急時の対応として緊急一斉メールを配信している。定期的にテストメールを実施し、配信具合を検証している
	③⑱ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	13		注意している。特定しやすい情報は伏せている	・取り扱いについては、同意を得てから関係機関と連携しています。また、入園時に個人情報の取り扱いについて説明し、同意を得ています。
	③⑲ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13		その子自身や背景など総合的に把握し、伝え方を配慮している	

	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	5	招待ではないが、民生委員の方にボランティアとしてご協力いただいている	
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	13	1		・火災を想定しての避難訓練を定期的実施し、「通報・避難・消火訓練」を消防士の指導のもと年に1回実施しています。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	14		火災を想定しての避難訓練を定期的実施している。地震による津波を想定しての訓練は実施できていません。	各種マニュアルは策定しておりますが、今年度も職員や保護者に周知するには至っておりません。訓練の実施を含め、計画していきます。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	14		服薬表をもとに、薬の管理を行っている。てんかん発作がある児に対して	・新年度に調査票による園児の健康状態の把握をし、職員間で共有しています。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	13			また、食物アレルギーに関しては・医師の指示書のもと除去食など対応しています。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	13	1		・日々終礼時に「ひやりはっと」の確認をしています。具体的な対応策を検討し、事故防止意識を高めています。また安全点検日を定め、危険個所の改善に努めています
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11	2	・今年度は、研修会に参加することは難しい状況であった。日々の療育の中で、児の関わりや呼名等についても不適切なことがないか職員の気づきを大切にしている。	・年度はじめに「倫理要綱」の読み合わせなど職員としての心得などを確認し、支援姿勢について自ら考える機会にしています。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	10	3	室内の鍵については、安全面と指	・鍵については全体指導の時の安

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。